

平成26年11月8日（土）浅草橋ヒューリックホール

難病・慢性疾患全国フォーラム

（独）国立精神・神経医療研究センター病院
精神リハビリテーション部（地域精神科モデル医療センター）
作業療法士 浪久 悠



作業療法士（OT）の活動する領域は、 身体・精神・発達・老年期があります

私たち（国立精神・神経医療研究センター）のリハビリは...

身体

神経・筋疾患（難病）や小児疾患に対して

- 発達評価や発達の促進
- 生活動作の工夫の指導
- 道具の工夫



- コミュニケーション機器の導入
- IT機器の活用アドバイス
- 各種サービスの紹介・調整



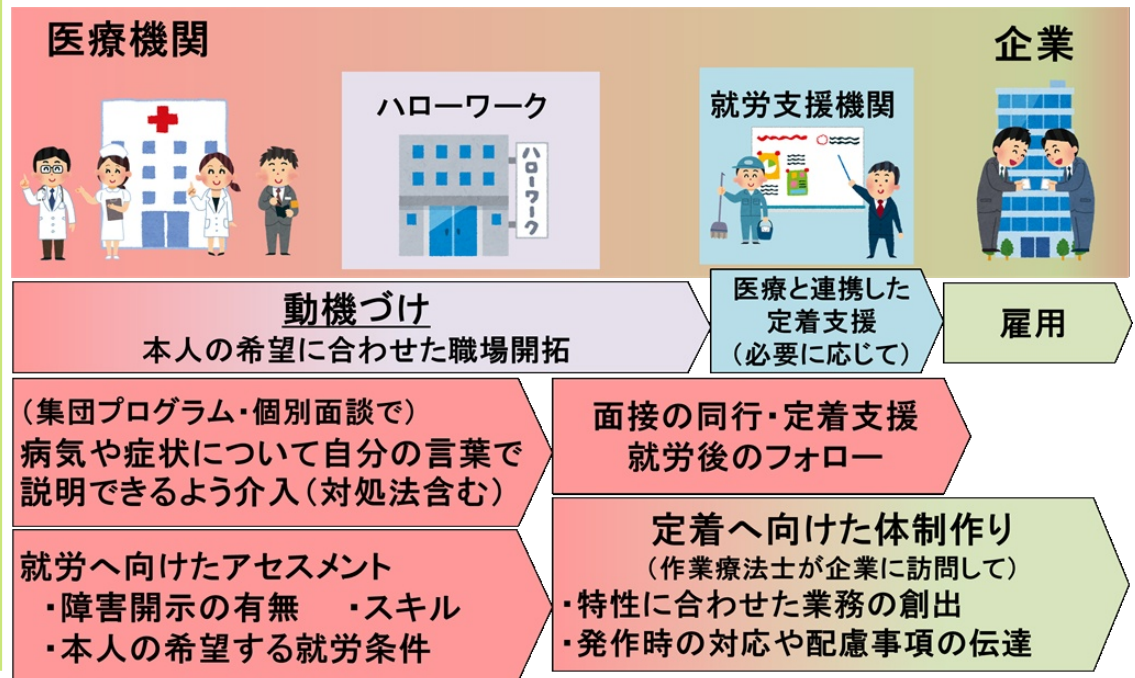
- 住環境調整（住宅改修の助言）
- 家族会との協力

精神

様々な精神的な面（心身の不調）に対して

- 心身の基本的機能・生活リズムの回復
- **ストレス対処法** [モニタリング・リラクゼーション]

- **最近では、地域（支援機関・ハローワーク）と連携し就労支援も行っています。**



難病法施行にむけて～臨床を通して感じたこと～

難病に係る新たな公平かつ安定的な医療費助成の制度の確立
難病の医療に関する調査及び研究の推進
療養生活環境整備事業の実施

制度を活用していくためには⇒つながりが大切

